

平成 30 年度未来みやぎ子育て表彰受賞企業

三桜電気工業（株）の取組

- 1 同社の主要業務の一つである送電線の架設工事は、山間部の工事現場に長期滞在しての作業となることから、会社としても従業員の家庭を守ることを非常に重要視してこられました。
- 2 その中で、長年取り組まれている家族手当の支給は、子育て家庭を支援する制度としてすっかり定着しています。配偶者 10,000 円、子ども 1 人につき 15,000 円を支給するもので、子どもの人数に制限を設けず、18歳になるまで支給されるものであり、子育て中の従業員の方にとって大変喜ばれています。
- 3 また、有給休暇を取得しやすいように、まずは管理職への理解を進めるとともに、業務内容を共有化し、従業員同士がサポートできる体制を整えているほか、配偶者が出産した従業員に特別休暇を付与するなど、制度の積極的な取得を促しています。
職員の事情を汲んで、あらかじめ山間部の現場に入る業務から外す等もされているようです。
さらに、男性従業員も育児休暇が取得できることを周知するポスターを社内に掲示するなど広報に努めており、実際に制度を活用している男性従業員もおられます。
- 4 これらの取組に当たっては、会社としての負担が増えるのも事実ですが、人材獲得とりわけ新規採用にとって大きな効果も生まれています。また、子育て家庭を応援するという社員の意識も高まり、働きやすい職場の創出にも繋がっています。
- 5 このほかユニークな取組として社内に新体操部があります。
高校・大学時代に活躍した従業員による自主的な取組でしたが、現在は全国唯一の実業団チームとして活動しています。地域の子どもたちで組織される「三桜ジュニア」（社員の子どもさんもいるそうです）の指導など、地域貢献の一環として活動するほか、イベントなどではチームとして演技も披露しており、子どもたちとの交流に大きく貢献しています。